

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、特殊鋼のリーディングカンパニーとして「特殊を超える価値」を提供していくことで、マルチステークホルダーとの適切な協働を通じて持続的な企業価値向上を目指します。

その上で、価値協創や生産性向上によって生み出される成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、長きにわたり社会から必要とされる企業であり続けるために必要であるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。

その上で、生み出した収益・成果に基づき、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げについて労使で協議を行うとともに、それ以外の総合的な労働条件改善としても、従業員の働きがい向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等の人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて、毎年の定期昇給の実施に加え、当社の経営状況や社会情勢を踏まえた上でのベースアップを適宜実施しております。

教育訓練等については、階層別教育やプロフェッショナル人材の育成に向けた各種研修の実施、従業員の自発的成長を支援する自己啓発制度の拡充に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・パートナーシップ構築宣言のURL

【 <https://www.daido.co.jp/common/pdf/pages/about/procurement/partnership.pdf> 】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

3. その他のステークホルダーに関する取り組み

(1) お客様との関係

当社は、創業以来、常にお客様から信頼される会社を目指し、優れた商品の開発力とともにお客様から高い評価を受けています。お客様への取り組みについては、こちら
(<https://www.daido.co.jp/sustainability/governance/product/index.html>)
をご覧ください。

(2) 地域社会との関係

当社は、地域社会への責任と貢献を重視しています。地域社会への取り組みについては、こちら
(<https://www.daido.co.jp/sustainability/society/region/index.html>)
をご覧ください。

(3) 株主・投資家との関係

当社は、企業価値向上へ向けての絶えざる改善を進めるとともに、適時的確な情報開示、コミュニケーションの充実を通じて、経営の質を高めてまいります。
株主・投資家への取り組みについては、こちら
(<https://www.daido.co.jp/sustainability/society/stakeholders/index.html>)
をご覧ください。

これらの項目について取り組み状況の確認を行いつつ、着実な取り組みを進めてまいります。

以上

令和7年3月21日

大同特殊鋼株式会社 代表取締役社長 清水 哲也